



# SUMCO 株主通信

第26期 中間期

2024年1月1日 » 2024年6月30日

## INDEX

- 01 ごあいさつ  
連結業績 ハイライト
- 03 特集：AIの進展とシリコンウェーハ需要の拡大
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

## SUMCO ビジョン VISION

- 1 技術で世界一の会社
- 2 景気下降局面でも安定して収益をあげる会社
- 3 従業員が生き活きとした利益マインドの高い会社
- 4 海外市場に強い会社



株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度中間期における半導体市場は、民生・産業・自動車向けなどで弱い需要が続きましたが、AI用データセンター向けの強い需要にけん引され、全体として回復基調が継続しました。これに伴い、300mmシリコンウェーハは、AI用データセンター向けの先端品を中心に回復に転じましたが、200mm以下は低調な出荷が続きました。

今後の半導体市場につきましては、AI利用の拡大によるデータセンター向け需要の回復に加えて、パソコンやスマートフォン、自動車向けの回復期待もある一方で、民生・産業向けは依然として弱い見通しです。顧客は先端品以外の在庫適正化に時間を要しているため、300mmシリコンウェーハ需要は緩やかな回復が続くと予想しますが、200mm以下は低調な需要が続く見通しです。

このような環境のもと、当社グループでは足許の厳しい状況に対応するため、収益確保の取り組みを強化するとともに、AIを活用した生産性向上やコスト競争力の強化、市場変動に俊敏に対応できる生産体制の構築を進めてまいります。

さらに、従来以上に技術開発に注力し、製品の差別化と「高付加価値製品」の開発を進めるとともに、半導体技術が大きく変わる中で高度化・多様化する顧客要求へ迅速に対応することで、先端品の高シェアを堅持してまいります。

2024年12月期の中間配当につきましては、当期における利益水準、次期以降の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり15円としました。配当金総額は52億円、補助金収入を除いた連結配当性向は42.4%となります。

当社を取り巻く経済環境や収益状況、資金需要、業界動向等を引き続き注視し、状況に応じた適切な株主還元を行いたいと考えております。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO  
橋本 眞幸

代表取締役 副社長 CFO



代表取締役 副社長 CFO  
窪添 伸一

株主の皆様には、平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

2024年度中間期は、300mmシリコンウェーハ需要は底を打ったものの、生産販売が大きく減少する厳しい事業環境が続き、売上高は1,982億円と前年同期比で224億円の減収となりました。営業利益は、円安による好影響はあったものの、生産販売数量の減少、資材費・電力費などのコストアップとグリーンフィールド投資による減価償却費の増加等により、259億円減の208億円となりました。親会社株主に帰属する純利益は126億円へ減少しました。

キャッシュフローの面では、グリーンフィールド投資により、フリーキャッシュフローがマイナスとなりました。この資金需要には借入金で対応を行いました。グリーンフィールド投資は需給調整局面の中での実施となりましたが、将来の成長に貢献する重要な投資と考えております。

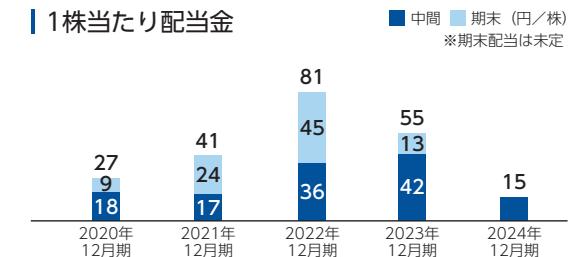
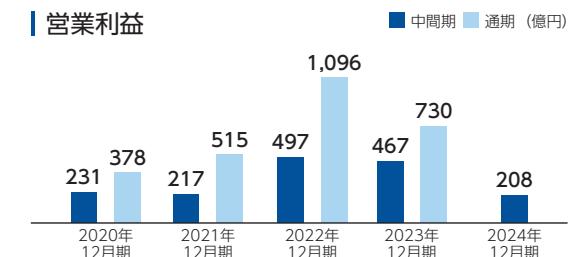
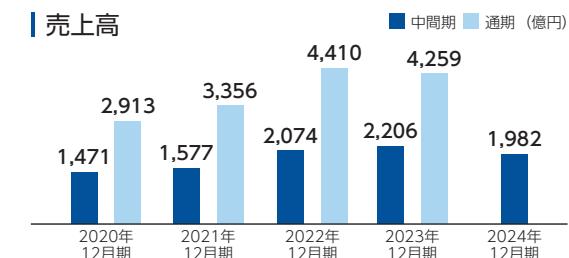
財務体質の指標につきましては、自己資本比率49.9%、グロスD/Eレシオは0.57となりました。

引き続き、最先端技術の開発を推進するとともに、生産性向上とコスト競争力強化も同時に推し進め、一層の収益力強化に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

連結業績 ハイライト

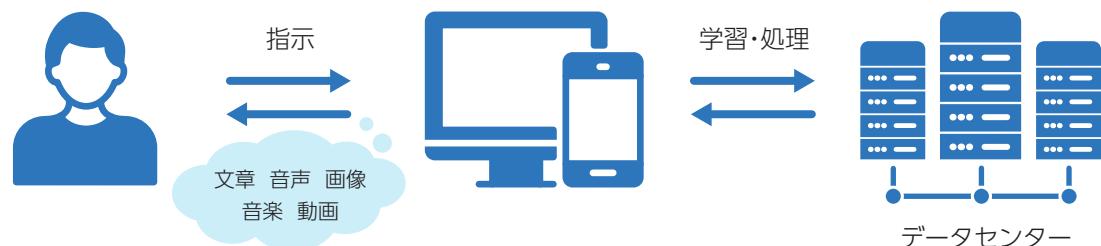
(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。



AIの進展は半導体需要をけん引し、最先端シリコンウェーハの需要につながります。

## AIの登場と利用の拡大

- AIは、音声認識や画像認識にはじまり、文章の要約や作成、映像や音楽の生成へと拡大し、私たちの生活・仕事・学習などに大きな変化をもたらしています。
- AIは、データセンターにあるサーバー（コンピューター）に搭載された半導体が、膨大なデータを計算処理し学習することで、音声・画像の認識や、文章や映像などの生成を短時間でいきます。
- AIの進化により新たな用途が広がり、将来はだれもが日常生活のさまざまな場面でAIを活用できるようになります。



## データセンターの拡大と端末機器へのAI搭載が進む

- 昨今、AI利用の急拡大に対応するために、データセンターとAI用サーバーの増設が急速に進んでいます。
- また、サーバーを使わず端末機器のみでAIを実現する、AI搭載スマホやAI搭載パソコンが続々と登場しており、今後急速に普及する見込みです。

### ▼AI関連製品の出荷台数予想

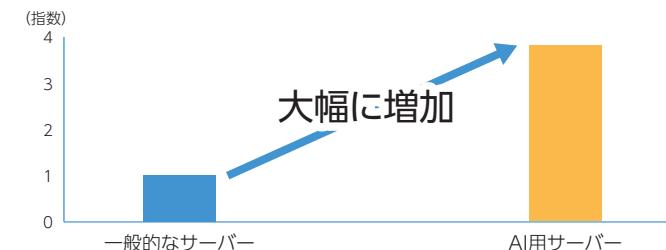
	2024年	2027年
AI用サーバー	1.9百万台	2.7百万台
AI搭載スマホ	2.6億台	8.2億台
AI搭載パソコン	0.6億台	1.7億台

(出典:調査会社情報を元にSUMCO推定)

## AI用サーバーを構成する半導体とシリコンウェーハ

- AIを実現するため、AI用サーバーを使い、10兆個以上の高度なデータ処理により学習を行っています。
- 高速に大量のデータを処理するためには、多数の最先端ロジック半導体とメモリ半導体が必要となるため、AI用サーバー 1 台あたりに必要となる半導体用シリコンウェーハも、一般的なサーバーに比べて飛躍的に増加します。

### ▼サーバー 1 台あたりに必要なシリコンウェーハ量

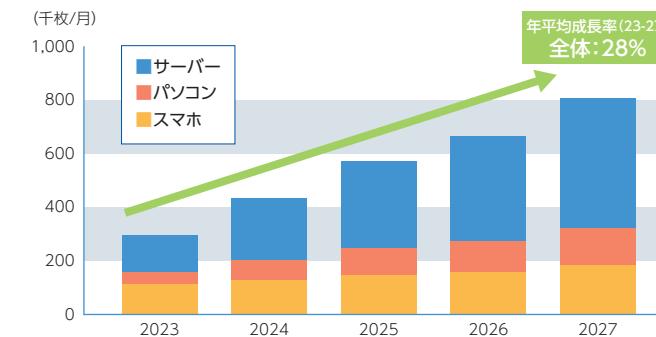


データセンター内に並ぶサーバー群

## AI向け最先端ロジック用シリコンウェーハ需要

- AIの普及と進化を支えるのは、最先端半導体とその基幹材料である最先端シリコンウェーハです。
- SUMCOが世界トップシェアを有する最先端ロジック用ウェーハの需要は、AIの進展にあわせ、今後も拡大することが予想されています。
- SUMCOは、最先端半導体を支えるシリコンウェーハのリーディングカンパニーとして、今後も技術開発と高品質なシリコンウェーハの安定供給に努めてまいります。

### ▼AI向け最先端ロジック用ウェーハ需要予想



(出典:各調査会社情報を元にSUMCO推定)

# 市場環境と業績見通し

## 2024年度中間期 (1-6月) 市場環境

2024年度中間期における半導体市場は、民生・産業・自動車向けなどで弱い需要が続きましたが、AI用データセンター向けの強い需要がけん引し、全体として回復基調が継続しました。300mmシリコンウェーハは、顧客の生産量増加に伴い、1Qを底にロジック・メモリ共に先端品向け出荷は回復に転じました。200mm以下につきましては、低調な出荷が続きました。

## 2024年度中間期 (1-6月) 事業成績

当社グループでは「SUMCOビジョン」のもと、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、先端製品の高シェアを維持するとともに、AIを活用した生産性向上などコスト競争力の強化にも努めてまいりました。以上の結果、2024年度中間期における当社グループの業績は、売上高1,982億円、営業利益208億円、経常利益204億円、親会社株主に帰属する当期純利益126億円となりました。

## 今後の見通し 2024年度3Q累計 (1-9月)

2024年度3Q(7-9月)の300mmシリコンウェーハ需要は、顧客が先端品以外のウェーハ在庫の適正化を引き続き進めるため、緩やかな回復が続くと予想しています。200mm以下につきましては、引き続き最終製品の需要は弱く、低調な出荷が続く見通しです。2024年度3Q累計の業績見通しについては、表2.の通り予想しています。

表1. 営業利益増減分析 (前年同期比)

	2023年度中間期	2024年度中間期	増減
売上高	2,206	1,982	▲ 224
営業利益	467	208	▲ 259
為替レート (円/US\$)	134.5	151.3	+ 16.8

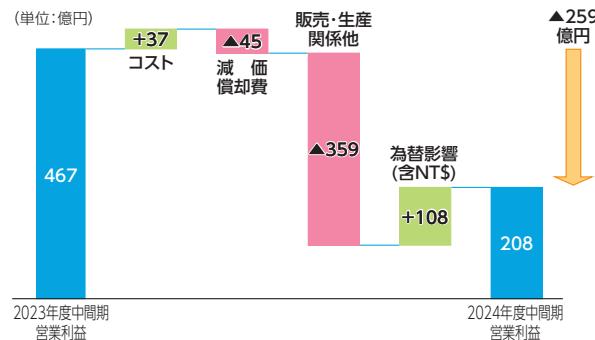


表2. 2024年度3Q累計 (1-9月) 連結業績予想

項目	2023年度3Q累計実績 (1-9月)	2024年度3Q累計予想 (1-9月)	増減
売上高	(億円) 3,208	2,982	▲226
営業利益	(億円) 618	278	▲340
経常利益	(億円) 639	254	▲385
親会社株主に帰属する純利益	(億円) 589	161	▲428
1株当たり純利益	(円) 168.4	46.1	▲122.3
為替レート	(円/US\$) 137.3	150.7	+13.4

注) 業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 会社情報

会社概要 (2024年6月末現在)	
商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	199,034百万円
従業員数	連結9,864名 単体5,009名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役 (2024年6月末現在)	
代表取締役 会長兼CEO	橋本 眞 幸
代表取締役 社長	阿波 俊 弘
代表取締役 副社長	龍田 次 郎
代表取締役 副社長	窪 添 伸 一
取締役	加藤 健 夫
取締役	加藤 茜 愛 *
取締役 (常勤監査等委員)	藤井 淳 朗
取締役 (監査等委員)	田 中 等 *
取締役 (監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役 (監査等委員)	太 田 信 一 郎 *
取締役 (監査等委員)	須 江 雅 彦 *
取締役 (監査等委員)	Amy Shigemi Hatta *

\* 社外取締役 (独立役員)

# 株式情報

株式情報 (2024年6月末現在)	
発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	350,175,139株
総株主数	113,745名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

# 株主メモ



第26期 中間期 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日
配当金支払株主確定日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/) に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード: 3436)

## ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

## ■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

## ■ 単元未満株式の買取請求について

単元 (100株) 未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

# For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

## 見直しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、  
植物油インキを  
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。